

平成24年度 公募推薦入学試験要項

1. 学部・学科と募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
経 済 学 部	経 済 学 科	50名
経 営 学 部	経 営 学 科	50名
法 学 部	法 律 学 科	60名
文 学 部	人 間 学 科	78名
教 育 学 部	教 育 学 科	20名
	児 童 教 育 学 科	20名
工 学 部	情報システム工学科	16名
	生命情報工学科	14名
	環境共生工学科	12名

※第2志望まで出願可。

2. 出願資格

次の(1)～(3)の条件を満たしている者。

- (1) 本学の建学の精神を理解し、本学への入学を第一志望とする（合格した場合は必ず入学する）者。
- (2) 次のいずれかの条件を満たす者。
 - ア. 高等学校または中等教育学校を平成24年3月卒業見込みの者または平成23年9月卒業の者で、人物・学力ともに優秀であり、同学校長が推薦する者。
ただし、創価高校および関西創価高校は除く。
 - イ. 高等専門学校第3学年を平成24年3月修了見込みの者で、人物・学力ともに優秀であり、同学校長が推薦する者。
 - ウ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成24年3月31日までに修了見込みの者または平成23年9月修了の者で、人物・学力ともに優秀であり、同学校長が推薦する者。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が3.2以上の者。
ただし次の者については、評定平均値が3.2未満でも出願を認める。
 - ア. 実用英語技能検定（日本英語検定協会）2級以上、TOEFL（PBT）450・（CBT）133・（IBT）45点以上、TOEIC519点以上、ケンブリッジ大学英語検定試験レベル2：予備英語テスト（PET）以上、国際連合公用語検定・英語検定試験C級以上のいずれかを取得している者。（全学部）
 - イ. 経営学部出願者は、日本商工会議所簿記検定試験2級以上、全国経理学校協会簿記検定試験1級（会計と工業簿記の両方）以上、全国商業高等学校協会簿記検定試験1級（会計と原価計算の両方）のいずれかを取得している者、または独立行政法人情報処理推進機構の基本情報技術者試験の合格者。

ウ. 工学部情報システム工学科出願者は、独立行政法人情報処理推進機構の「基本情報技術者試験、データベーススペシャリスト試験、ネットワークスペシャリスト試験、ITサービスマネージャ試験、エンベデットシステムスペシャリスト試験、応用情報技術者試験」のいずれかの合格者、または財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）の「CGクリエイター検定エキスパート、CGエンジニア検定エキスパート、マルチメディア検定エキスパート」のいずれかを取得している者。

※なお、2009年度以前に実施されていた独立行政法人情報処理推進機構の「テクニカルエンジニア（データベース）試験、テクニカルエンジニア（ネットワーク）試験、テクニカルエンジニア（システム管理）試験、テクニカルエンジニア（エンベデットシステム）試験、ソフトウェア開発技術者試験」、財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）の「CGクリエイター検定2級以上、CGエンジニア検定2級以上、マルチメディア検定2級以上」の資格を有する者も該当します。

3. 出願期間

平成23年11月1日（火）～11月8日（火）

4. 試験日

平成23年11月19日（土）

5. 選考方法・配点

- | | | |
|-----------|-------------|--------|
| (1) 書類審査 | | (50点) |
| (2) 学力テスト | 10:30～11:40 | (100点) |
| (3) 面接 | 13:00～ | (50点) |

※原則として面接員3名、受験生3名（場合によっては2名）で行う。

※第1志望の学科で面接を受験。

<学力テスト：全科目ともマークシートによる解答方式>

学 部	学 科	学 力 テ ス ト
経 済 学 部	経 済 学 科	※1 英語または※2 数学のいずれか選択
経 営 学 部	経 営 学 科	※1 英語または※2 数学のいずれか選択
法 学 部	法 律 学 科	※1 英語
文 学 部	人 間 学 科	※1 英語
教 育 学 部	教 育 学 科	※1 英語
	児 童 教 育 学 科	※1 英語
工 学 部	情報システム工学科	※1 英語または※2 数学のいずれか選択
	生命情報工学科	※1 英語または※2 数学のいずれか選択
	環境共生工学科	※1 英語または※2 数学のいずれか選択

※1 英語：英語 I・II・リーディング・ライティング（70分）

※2 数学：数学 I・II・A（集合と論理、場合の数と確率）・B（数列、ベクトル）（70分）

※工学部情報システム工学科出願者は「数学Ⅲ」及び「数学C」を高等学校等で履修（調査書で確認）していること。

6. 試験場

創価大学校舎：八王子市丹木町1-236

7. 合格発表日

平成23年11月30日（水）

8. 入学準備プログラム

合格者には、入学準備プログラムを課す。

9. 第1次入学手続き期間

平成23年12月5日（月）～12月15日（木）

【公募推薦入試における、各学部・学科の選考趣旨】

<経済学部経済学科>

本学部は、グローバル化時代の新たな経済社会において活躍する地球市民の育成を目指しています。そのために以下の3点を教育目標として掲げています。（1）人と人とを結びつけるコミュニケーション・対話能力の育成、（2）経済学の探求を通して問題を発見し、その解決まで可能とする透徹した知性の鍛錬、（3）グローバル社会において幅広い教養と語学力をもって創造的共生を導く地球市民の養成です。

公募推薦入試では、学力テストとあわせて、皆さんの高校におけるクラブ活動や対外的活動、語学などの各種資格取得状況など多面的、総合的に評価します。また面接では、皆さんと直接お会いし、質疑応答を通じて、人間性・社会性、学習への姿勢や問題意識の高さ等について確認したいと考えています。

グローバル・シチズンを目指し、学問への志と向上心に溢れる皆さんの志願を待っています。

<経営学部経営学科>

本学部では、グローバルなビジネス社会で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。そのためにも公募推薦入試の受験生には学力テストのほかに経営学部への入学動機や人物についての評価も行います。単なる学力テストの形式では測ることのできない受験生の優れた「個性」を発見したいと思います。

まず高校からの調査書、推薦書、高校生活の記録などから出席状況、語学・簿記など各種資格の取得状況、クラブ活動や学園祭などでの活動状況、ボランティア活動などの状況を総合的に判断します。さらに面接試験によって、受験生の「人物」、経営学部への「志望動機」、学力テストでは計れない「論理的なものの考え方」などを、質問一応答を通じて評価します。このため面接試験では、素直に受験生に話してもらいたいと願っています。また、一人ひとりの受験生にできるだけ多くの時間をかけ、慎重に選抜を行います。

向上心を持った個性豊かな生徒諸君の積極的な志願を待っています。

<法学部法律学科>

本学部では、次のような人材の輩出を目指しています。(1) 自分の意見を的確に表現できるとともに、将来についての明確な目標やビジョンをもち、その実現のために能動的に考え、行動ができる主体性ある人材。(2) 社会における様々な出来事や法的紛争について、問題を発見し、それを分析し解決する能力を有する、創造性豊かな人材。(3) 「生命」や「人権」の大切さを理解し、他者への思いやりをもった、人間性豊かな人材。(4) グローバルな発想と視野をもって、「平和社会」の実現に寄与することのできる国際性豊かな人材。そのために、とくに公募推薦入試では、単に学力テストの結果だけで可否を判断するのではなく、より多角的、総合的な観点から人物を判断し、評価することに主眼を置いています。

英語の学力テストが課せられますが、それに加えて、面接で以下の点が審査されます。大学での学問研究に強い意欲をいただいているか、将来について一定の目標を持っているか、これまで培ってきた教養はどの程度か、などです。また、高等学校での勉学、クラブ活動、資格取得などの実績も考慮されます。大学教育に必要な基礎学力を有し、熱意あふれる生徒諸君の志願を期待しています。

<文学部人間学科>

文学部人間学科は、言語・社会・歴史・哲学・文学など、広範囲にわたる人間の文化活動を深く学ぶことで、次のような人材育成を目指します。(1) 人間として、幅の広く、かつ深い教養を身につけ、自己啓発・自己実現する力をもった人材。(2) 文章力、発表力、情報収集力など、語学やメディアスキルとともに、時代の要請に対応した基礎能力を身につけた人材。

(3) 人間理解、生命理解の上に立った、世界の文化形成、平和建設に貢献する人材。すなわち「人間学科」の名称が示すように、「創造的人間」「全体人間」として、各界・各分野で本格的に活躍できる実力を養成したいと考えています。

公募推薦入試では、皆さんの高校時代の状況を総合的に評価し、英語の学力テストとともに、面接を行います。とくに面接では、質疑応答を通して、学習への意欲・目的観や問題意識などを評価したいと思っています。意欲ある皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

<教育学部 ※教育学科、児童教育学科共通>

本学部では、一般的な指導力というまでもなく、学習者の心情を理解し適応を援助する能力、コミュニケーション（国際的共通語としての英語による理解・伝達を含む）の能力、情報処理と機器操作の能力、問題解決能力などを重点的に養成しようとしており、そうした諸能力の素地となる学習能力・思考力・持続力などの基礎的能力をとくに重視して評価します。

そのために、基礎的能力が反映しやすい英語使用の能力をひとつの重要な尺度として活用するとともに、面接では人間性・学習意欲・目標意識の明確さなどを中心に、上述の諸能力を可能な限り考慮に含めて評価する方針です。

<工学部情報システム工学科>

21世紀を迎えた今、時代は再び大きな変革の選択を人類に迫っています。急速に進歩する情報化社会になくなくてはならない个性的かつ創造的な学生の発掘を目指しています。本学科では、はつらつとした健全な人生観、前向きな問題意識を有し、情報科学・技術の学問を基盤に真に社会の人々に貢献したいという高い志を持つ学生を求めています。積極的に知識を吸収し、知識を活用する知恵を発現できる能力を重視しています。

<工学部生命情報工学科>

本学科は、生命科学を理解し、コンピュータ技術を習得した人材の育成を目指しています。発展しつつある生命情報工学を通じて、21世紀の社会に貢献するという高い志を持つ学生を求めています。選考にあたっては、高校での成績と英語または数学の学力テストだけでなく、面接による人物評価も行ないます。面接では、学習意欲、問題解決能力、将来についての目的意識などについて、多面的な評価を行います。

<工学部環境共生工学科>

現代社会は、地域から地球規模にわたる様々なレベルで深刻な環境問題を抱え、その対応と変革に迫られています。今後の大きな変革のひとつは、循環型環境構成社会の創造にあるといえます。そのために、環境にやさしい技術と快適な生活を実現する環境化学工学と、生態系の保全と持続的な利用を可能にする生態環境工学の2つの分野からアプローチし、人間と環境との共生を目指します。本学科では、自分で考え行動することができる人材の育成を第一として教育を行っていきます。環境に関心があり、そして自ら行動することのできる学生を求めています。